

令和6年6月25日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和6年4月～6月期実績、令和6年7月～9月期見通し)

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
142企業 (回答率94%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	3	10	9	8	9	4	4	27
建設業	26	2	2	3	3	13	13	5	4	3	3	25
小売業	33	9	9	2	2	11	10	9	7	2	2	30
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	5	1	1	21
宿泊業	20	8	7	5	4	7	7	0	0	0	0	18
サービス業	22	2	2	2	2	12	10	3	4	3	3	21
合計	150	30	29	17	16	59	55	31	29	13	13	142

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和6年4～6月期実績】

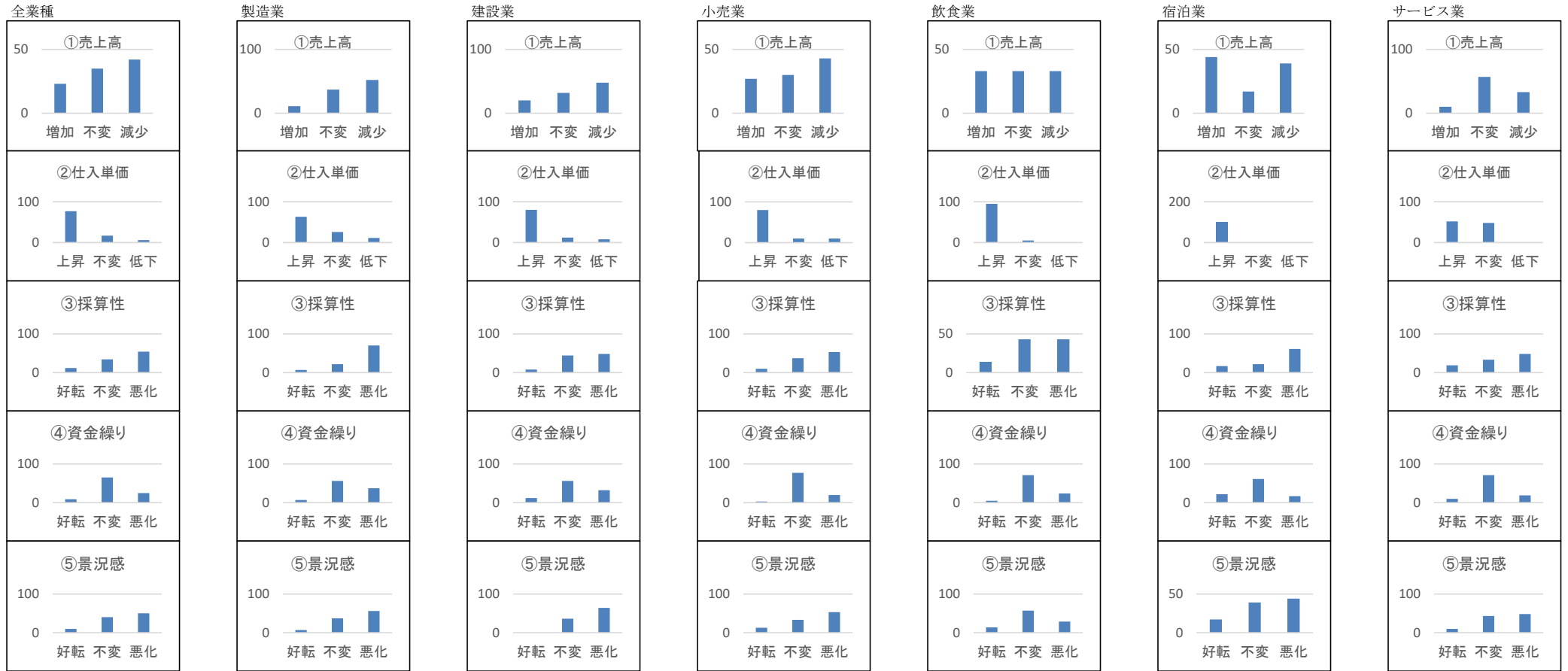
(1)	全業種の売上高DIは、▲18（前期比2ポイント増）となり、マイナス幅がやや減少した。
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業で増加、その他の業種では減少した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、66（前期58）と上昇した。
	業種別仕入単価DIは、小売業、サービス業で低下。その他の業種では上昇、とくに製造業、宿泊業は大幅に上昇した。
(3)	全業種の採算性DIは、▲40となり、横ばいであった。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業では上昇、建設業、小売業では低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、（前期▲26→）▲21（前期比5ポイント増）となりマイナス幅がやや減少した。
(5)	全業種の景況感DIは、（前期▲34→）▲38（前期比4ポイント減）となり、マイナス幅がやや拡大した。
	業種別の景況感DIは、建設業、飲食業、サービス業では上昇、製造業、小売業、宿泊業においては大幅に低下した。

【令和6年7～9月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲22となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。（悪化）
	業種別売上高DIは、製造業、宿泊業、サービス業が増加し、建設業、小売業、飲食業で減少する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、66となり、横ばいとなる見通し。（変化なし）
	業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、飲食業が上昇し、製造業、宿泊業、サービス業で低下の見通し。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲40となり、横ばいとなる見通し。（変化なし）
	業種別採算性DIは、小売業、宿泊業では上昇。製造業、建設業、飲食業では低下する見通し。サービス業は横ばい。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲25となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。（悪化）
	業種別の資金繰りDIは、飲食業、宿泊業で上昇。製造業、建設業、小売業では低下する見通し。サービス業は横ばい。
(5)	全業種の景況感DIは、▲33となり5ポイントマイナス幅が減少する見通し。（好転）
	業種別の景況感DIは、製造業、宿泊業、サービス業では上昇。建設業、小売業では低下。飲食業は横ばい。

【1】前年同期比

前年同期（令和5年4月～6月）と比べた今期（令和6年4月～6月）の状況

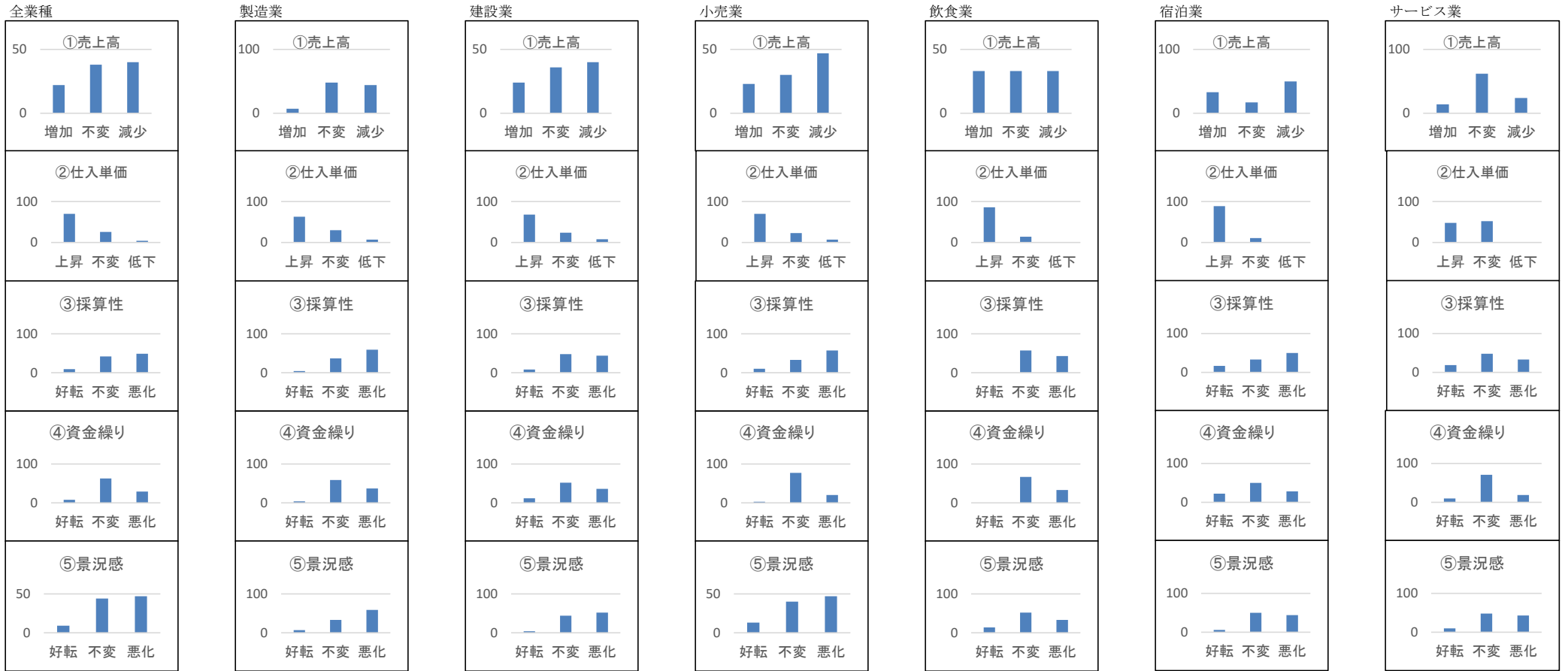


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 19	▲ 41	▲ 28	▲ 16	0	5	▲ 23
仕入単価	71	52	72	70	95	100	52
採算性	▲ 42	▲ 63	▲ 40	▲ 43	▲ 29	▲ 44	▲ 29
資金繰り	▲ 16	▲ 30	▲ 20	▲ 17	▲ 19	5	▲ 9
景況感	▲ 40	▲ 49	▲ 64	▲ 40	▲ 15	▲ 27	▲ 38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（令和6年1月～3月）と比べた今期（令和6年4月～6月）の状況



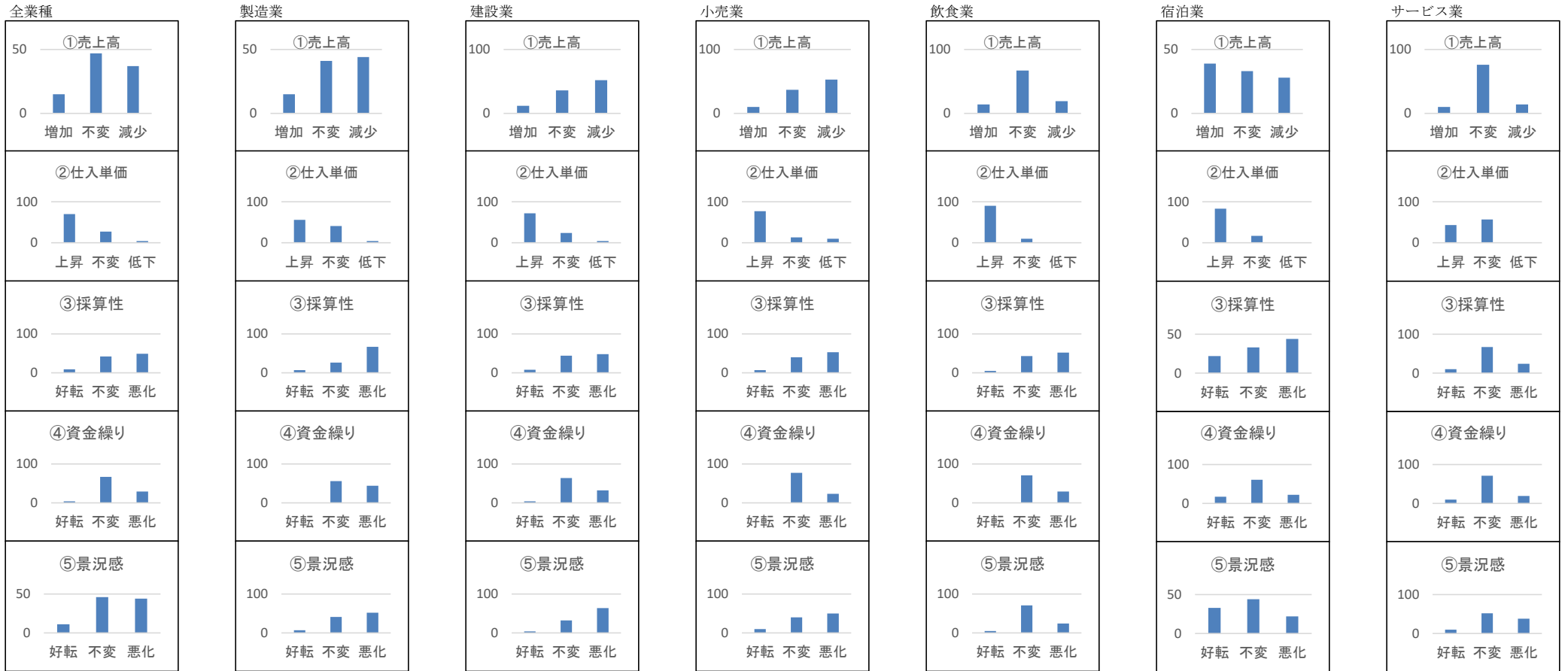
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 18	▲ 37	▲ 16	▲ 24	0	▲ 17	▲ 10
仕入単価	66	56	60	63	86	89	48
採算性	▲ 40	▲ 55	▲ 36	▲ 47	▲ 43	▲ 33	▲ 14
資金繰り	▲ 21	▲ 33	▲ 24	▲ 17	▲ 33	▲ 6	▲ 9
景況感	▲ 38	▲ 52	▲ 48	▲ 34	▲ 19	▲ 38	▲ 33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和6年4月～6月）と比べた来期（令和6年7月～9月）の見通し

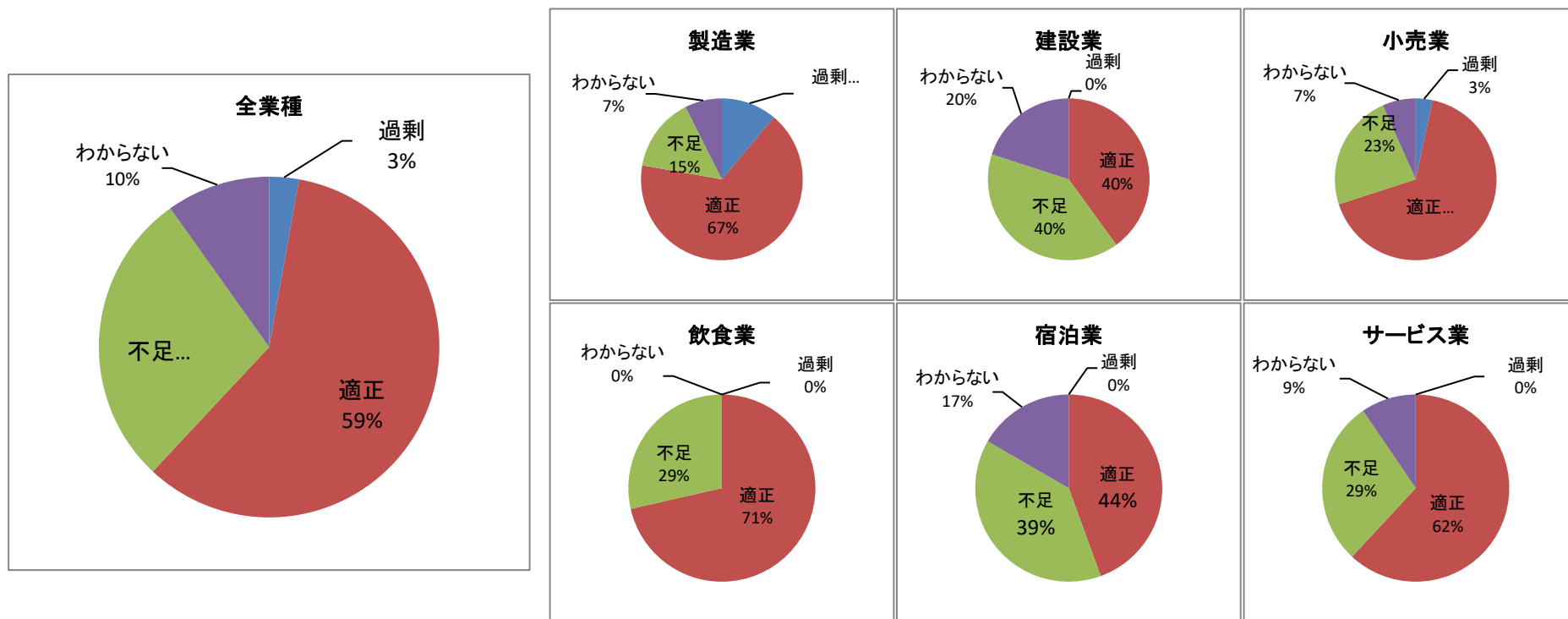


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 22	▲ 29	▲ 40	▲ 43	▲ 5	11	▲ 4
仕入単価	66	52	68	67	90	83	43
採算性	▲ 40	▲ 60	▲ 40	▲ 46	▲ 47	▲ 22	▲ 14
資金繰り	▲ 25	▲ 44	▲ 28	▲ 23	▲ 29	▲ 5	▲ 9
景況感	▲ 33	▲ 45	▲ 60	▲ 40	▲ 19	11	▲ 28

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R6.4～6月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	4	2.8%	3	11.1%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
適正	84	59.2%	18	66.7%	10	40.0%	20	66.7%	15	71.4%	8	44.4%	13	61.9%
不足	40	28.2%	4	14.8%	10	40.0%	7	23.3%	6	28.6%	7	38.9%	6	28.6%
わからない	14	9.9%	2	7.4%	5	20.0%	2	6.7%	0	0.0%	3	16.7%	2	9.5%
合計	142		27		25		30		21		18		21	

対前期比（R 6. 1～3月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	4.3%	-1.5	11.5%	-0.4	0.0%	0.0	3.2%	0.1	10.0%	-10.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	52.5%	6.7	65.4%	1.3	34.6%	5.4	61.3%	5.4	60.0%	11.4	35.3%	9.1	52.4%	9.5
不足	32.6%	-4.4	19.2%	-4.4	42.3%	-2.3	29.0%	-5.7	30.0%	-1.4	52.9%	-14.0	28.6%	0.0
わからない	10.6%	-0.7	3.8%	3.6	23.1%	-3.1	6.5%	0.2	0.0%	0.0	11.8%	4.9	19.0%	-9.5

【実績】

全業種で見ると、従業員の数に「適正」と回答した経営者が最も多く全体の59.2%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、28.2%である。対前期比では、「適正」が6.7%増、「不足」は4.4%減、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が66.7%と前期に引き続き最も多く、「不足」が対前期比4.4%減少した。

（建設業）「適正」「不足」と回答した経営者が共に40.0%となり、全業種において最も高い割合で「不足」と回答された業種となった。

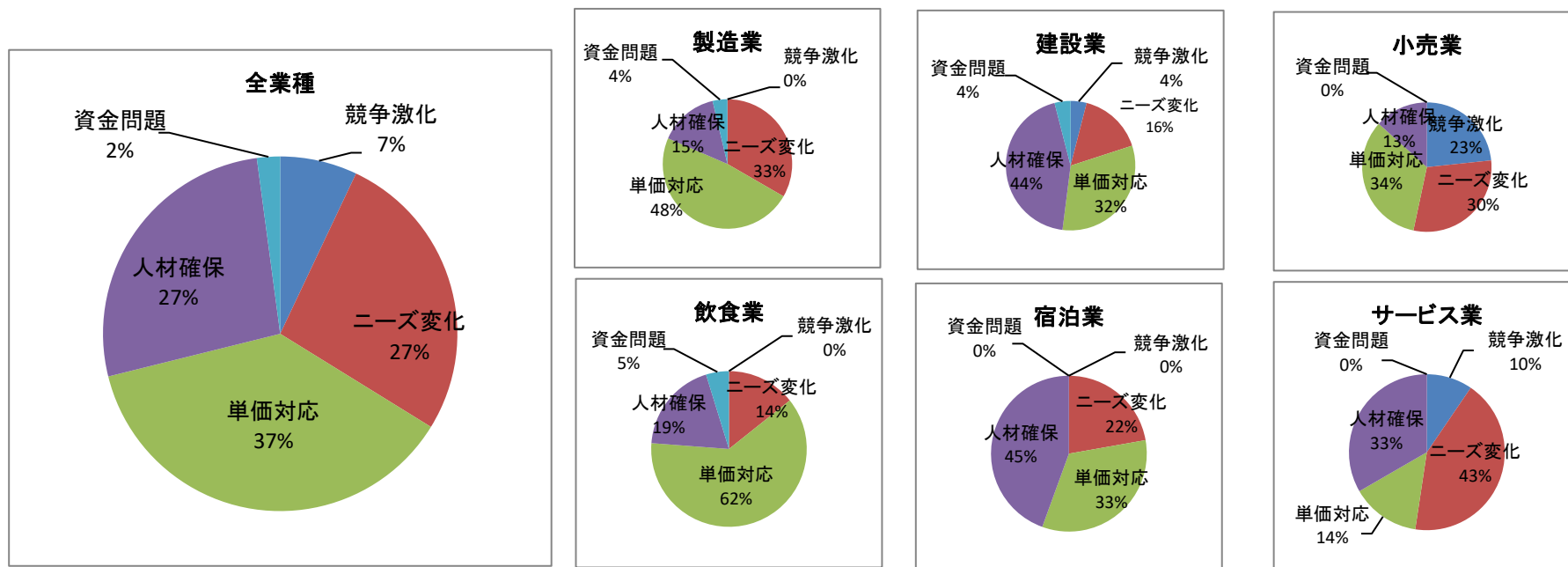
（小売業）「適正」と回答した経営者が66.7%と最も多く、対前期比は5.4%増加。「不足」は対前期比5.7%減の23.3%となった。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が71.4%と全業種においても最も多く、対前期比11.4%増加。「不足」が対前期比1.4%減の28.6%となった。

（宿泊業）「適正」と回答した経営者が44.4%（対前期比9.1%増）、
「不足」は対前期比14.0%減となったが、38.9%占めており依然、高い割合のままである。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が61.9%（対前期比9.5%増）と最も多く、「不足」が全体の28.6%と横ばいとなった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R6.4~6)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業(大型店)進出、インターネット普及による販売競争の激化	10	7.0%	0	0.0%	1	4.0%	7	23.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	競争激化
消費者(製品)ニーズ変化への対応	38	26.8%	9	33.3%	4	16.0%	9	30.0%	3	14.3%	4	22.2%	9	42.9%	ニーズ変化
仕入単価(原材料)の上昇、販売受注単価の低下	53	37.3%	13	48.1%	8	32.0%	10	33.3%	13	61.9%	6	33.3%	3	14.3%	単価対応
必要な人材の雇用確保	38	26.8%	4	14.8%	11	44.0%	4	13.3%	4	19.0%	8	44.4%	7	33.3%	人材確保
事業資金の借入難	3	2.1%	1	3.7%	1	4.0%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	資金問題
合計	142		27		25		30		21		18		21		

対前期比（R 6. 1～3）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	6.3%	0.7	0.0%	0.0	0.0%	4.0	22.6%	0.7	0.0%	0.0	0.0%	0.0	9.1%	0.4	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	24.6%	2.2	26.9%	6.4	11.5%	4.5	29.0%	1.0	20.0%	-5.7	29.4%	-7.2	31.8%	11.1	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	38.0%	-0.7	50.0%	-1.9	42.3%	-10.3	32.3%	1.0	55.0%	6.9	17.6%	15.7	27.3%	-13.0	単価対応
必要な人材の雇用確保	28.2%	-1.4	23.1%	-8.3	42.3%	1.7	16.1%	-2.8	20.0%	-1.0	47.1%	-2.7	27.3%	6.0	人材確保
事業資金の借入難	2.8%	-0.7	0.0%	3.7	3.8%	0.2	0.0%	0.0	5.0%	-0.2	5.9%	-5.9	4.5%	-4.5	資金問題

【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が引き続き最も多く37.3%の割合となった。次いで、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」、「必要な人材の雇用確保」となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が48.1%となり、11期連続で最も多く、対前期比では1.9%減。
次いで「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が6.4%増の33.3%であった。

（建設業）「必要な人材の雇用確保」が44.0%と最も多い。
次いで「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が対前期比10.3%減ではあるが、32.0%と依然、高い割合のままである。

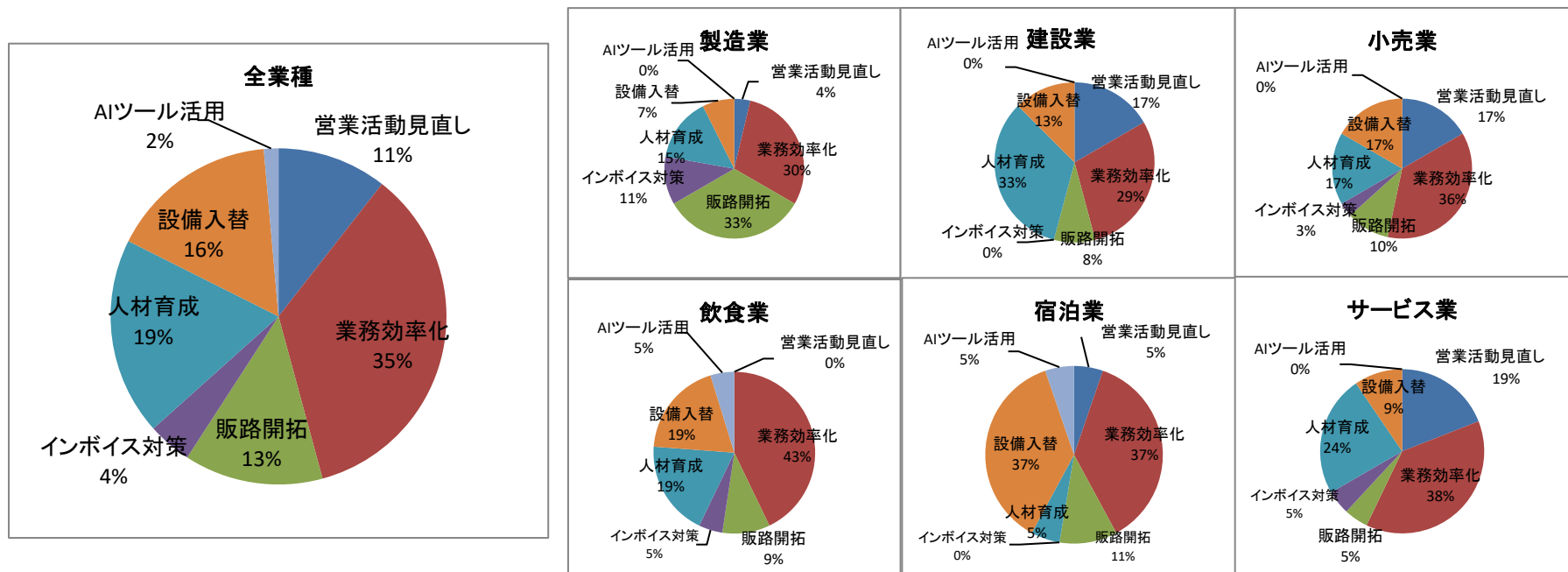
（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が33.3%と、9期連続で最も多い。
次いで「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が30.0%（対前期比1.0%増）となった。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が61.9%となり、11期連続で最も多く、
今回も全業種においても最も高い割合となった（対前期比では6.9%増）

（宿泊業）「必要な人材の雇用確保」が44.4%と前回に引き続き最も多い。（対前期比2.7%減）

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が前期に引き続き42.9%と最も多い割合となった。（対前期比11.1%増）

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R6.4~6)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	15	10.6%	1	3.7%	4	16.7%	5	16.7%	0	0.0%	1	5.6%	4	19.0%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	50	35.2%	8	29.6%	7	29.2%	11	36.7%	9	45.0%	7	38.9%	8	38.1%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	19	13.4%	9	33.3%	2	8.3%	3	10.0%	2	10.0%	2	11.1%	1	4.8%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	6	4.2%	3	11.1%	0	0.0%	1	3.3%	1	5.0%	0	0.0%	1	4.8%	インボイス対策
人材育成、社員教育	27	19.0%	4	14.8%	8	33.3%	5	16.7%	4	20.0%	1	5.6%	5	23.8%	人材育成
設備の入替・更新	23	16.2%	2	7.4%	3	12.5%	5	16.7%	4	20.0%	7	38.9%	2	9.5%	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.6%	0	0.0%	AIツール活用
合計	142		27		24		30		20		18		21		

対前期比（R6.1～3）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	16.4%	-5.8	24.0%	-20.3	8.0%	8.7	20.7%	-4.0	15.0%	-15.0	11.8%	-6.2	18.2%	0.8	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	25.7%	9.5	20.0%	9.6	28.0%	1.2	20.7%	16.0	40.0%	5.0	11.8%	27.1	36.4%	1.7	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	10.7%	2.7	20.0%	13.3	8.0%	0.3	10.3%	-0.3	10.0%	0.0	11.8%	-0.7	4.5%	0.3	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	8.6%	-4.4	8.0%	3.1	12.0%	-12.0	10.3%	-7.0	10.0%	-5.0	0.0%	0.0	9.1%	-4.3	インボイス対策
人材育成、社員教育	20.7%	-1.7	20.0%	-5.2	36.0%	-2.7	20.7%	-4.0	10.0%	10.0	23.5%	-17.9	13.6%	10.2	人材育成
設備の入替・更新	16.4%	-0.2	8.0%	-0.6	8.0%	4.5	17.2%	-0.5	15.0%	5.0	41.2%	-2.3	18.2%	-8.7	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	1.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	5.9%	-0.9	5.9%	-0.3	0.0%	0.0	AIツール活用

【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が35.2%（対前期比9.5%増）で最も多い割合となった。次いで「人材育成、社員教育」が19.0%（対前期比1.7%減）となった。

（製造業）「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」が33.3%と最も多い割合となった。（対前期比13.3%増）
次いで「業務の効率化、仕事の見える化」が29.6%（対前期比9.6%増）となった。

（建設業）「人材育成、社員教育」が33.3%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比2.7%減）
次いで「業務の効率化、見える化」は29.2%となった。（対前期比1.2%増）

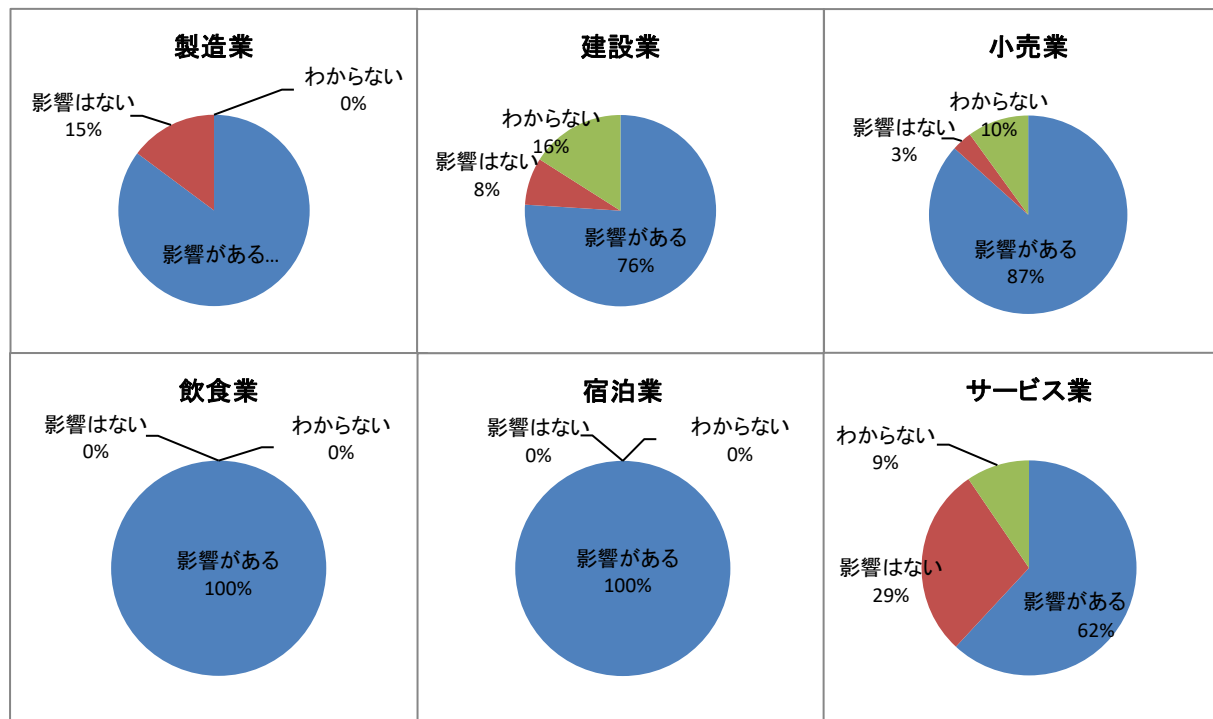
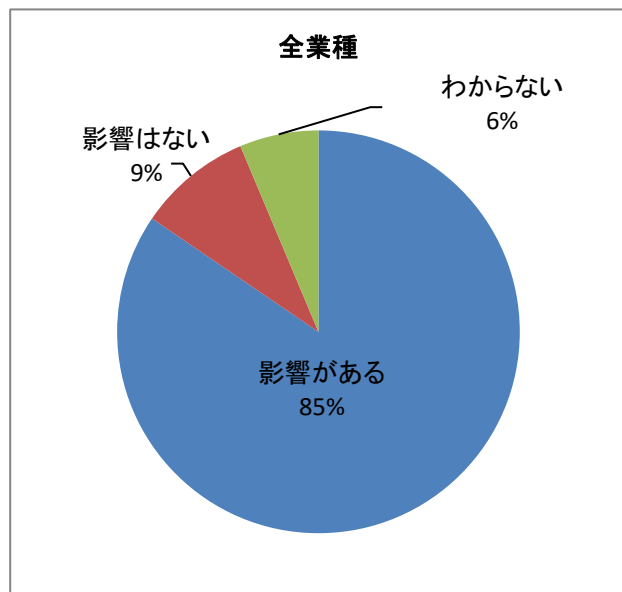
（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が36.7%と最も多い割合になった。（対前期比16.0%増）

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が45.0%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比は5.0%増）
次いで「人材育成、社員教育」「設備の入替・更新」が共に20.0%となった。

（宿泊業）「業務の効率化、仕事の見える化」「設備の入替・更新」が共に38.9%と最も多い割合となった。前者は対前期比27.1%と大幅増加。
「人材育成、社員教育」が対前期比17.9%の大幅減少となった。

（サービス業）「業務の効率化、仕事の見える化」が38.1%と前期に引き続き最も多い割合となった。（対前期比1.7%増）
次いで、「人材育成、社員教育」が23.8%の割合となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 6. 4 ~ 6)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
影響がある	120	84.5%	23	85.2%	19	76.0%	26	86.7%	21	100.0%	18	100.0%	13	61.9%
影響はない	13	9.2%	4	14.8%	2	8.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	28.6%
わからない	9	6.3%	0	0.0%	4	16.0%	3	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%
合計	142		27		25		30		21		18		21	

影響がある

影響はない

わからない

対前期比（R 6. 1～3）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	79.4%	5.1	84.6%	0.6	73.1%	2.9	83.3%	3.4	90.0%	10.0	88.2%	11.8	59.1%	2.8
影響はない	12.8%	-3.6	11.5%	3.3	7.7%	0.3	10.0%	-6.7	5.0%	-5.0	5.9%	-5.9	36.4%	-7.8
わからない	7.8%	-1.5	3.8%	-3.8	19.2%	-3.2	6.7%	3.3	5.0%	-5.0	5.9%	-5.9	4.5%	5.0

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で84.5%と大半を占めており、「飲食業」「宿泊業」においても100%の割合で影響があると回答した。（対前期比5.1%増）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、85.2%であった。（対前期比0.6%増）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、76.0%であった。（対前期比2.9%増）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、86.7%であった。（対前期比3.4%増）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、100.0%であった。（対前期比10.0%増）

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、100.0%であった。（対前期比11.8%増）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、61.9%であった。（対前期比2.8%増）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化
 (参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	材料費の高騰は続いているが値上げに移行することは簡単にはいかないので、薄利多売状態が続いている。(飲食業・城崎)
2	全ての材料が値上がりしたが、飲食業は価格の転嫁ができず大変厳しい状況で、人を雇うにも人件費が重くのしかかり雇用ができない。(飲食業・城崎)
3	物価高騰。(飲食業・城崎) (製造業・日高) (宿泊業・日高)
4	原料高騰、輸送費高騰に加えて、原料不足、容器不足により、仕入れ価格の高騰は続く見通しである。(小売業・城崎)
5	材料仕入れ、光熱費とも高騰する中で、販売単価の値上げをしなければ採算性が低下する。さらに、利用客数の減少ともなれば打撃を受ける。(宿泊業・城崎)
6	海外紛争等によるエネルギーの高騰に始まり、円安の加速による物価の高騰、ゼロ金利の見直し等国内対象の企業には、非常に厳しい状況です。現状はしばらく続きそうなので、今後は我慢比べで倒産企業の技術者を如何に確保出来るか。今後は生き残りをかけたサバイバル状況に突入する見込み。(建設業・竹野)
7	昨年6月まではGOTOトラベルの利用があり人の動きがあった。現在はコロナも落ち着き旅行する人も増えてきているがコロナ以前には及ばない様子。また物価の高騰も影響あり。(宿泊業・竹野)
8	原油価格・物価高騰・電気代の値上げ。仕入れ価格の高騰。(宿泊業・竹野) (サービス業・竹野/出石/但東) (飲食業・日高)
9	円安による輸入品の金額の増加。原油価格の高騰が収益悪化につながる。(製造業・日高)
10	付属資材や運賃の値上げ要求が増えており今後影響が出てくる見込み。(製造業・日高)
11	為替相場の円安進行に伴い、原料や副資材等すべてが高騰している。(製造業・日高)
12	今年も材料費の値上げ連絡がありました。すぐにお客様に反映が出来ないので利益は減少するかなと感じています。(製造業・日高)
13	社会情勢で値が上がった仕入れ価格は、下がることなく、中にはさらなる値上げも少なくない。とにかく円安を容認せず改善に努めてほしい。(建設業・日高)
14	円安、材料価格の高騰。(製造業・日高) (建設業・日高) (製造業・但東)

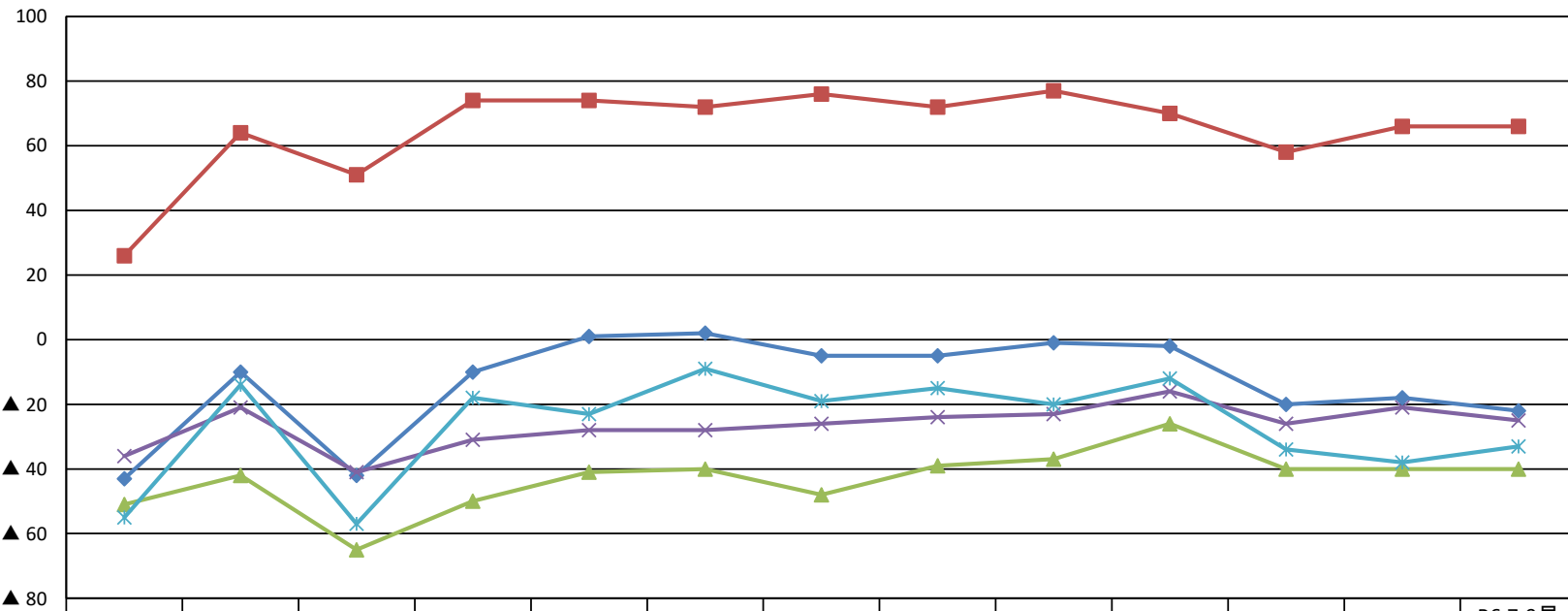
15	軽減税率、インボイス、定額減税など、事務処理に手間がかかる。理解するのに時間がかかる。軽減税率は同じ商品でも店内飲食なら10%、持帰りなら8%なので、税込価格が覚えられないので、当店では税別価格で話をしなければならない。手間がかかる、混乱する、複雑で難しい制度は今後するべきではない。本来の仕事の時間が無くなる。（飲食業・日高）
16	年々酷くなる人口減・ネット通販の影響がじわじわボディブローのように応えており明るい将来展望が見えない。（小売業・日高）
17	食料品における値上げが続く、または商品がなくなることが予想される（海苔、オリーブオイルの不作など）（小売業・日高）
18	輸入物の高騰。値上げした材料の高止まり。野菜類も値上がり。（小売業・日高）
19	電力・燃料・仕入れの高騰を販売価格に転嫁できない状況。新しい事を取り入れるにも費用がかさむし、今は状況を見守る状態です。（宿泊業・日高）
20	物価高騰にも関わらず、税金が高すぎる。賃上げを求めるなら、積極的な公共事業の増加を求める。（サービス業・日高）
21	ラベルなどの印刷物、瓶の一部が4月以降値上がりしている。（製造業・出石）
22	コロナ以降人の流れが変わってしまった。以前から懸念はしていたが、日本人のバスツアーが減少し観光業を直撃、これまでの形態では売り上げが見込めない。物価上昇の影響もあり節約傾向である。インバウンド需要により一部企業で恩恵があっても、国内全体の景気がよくなると購買意欲は高まらない。（製造業・出石）
23	材料価格や光熱費の上昇率が激しいにもかかわらず、商品価格にのせづらい状況です。（製造業・出石）
24	仕入原価の高騰、光熱費の値上げが影響している。すぐには価格転換できない。アルコール仕入単価もじわじわ上がっている。（飲食業。出石）
25	天候不順によって前年と同じ内容で販売するのが難しい。仕入先も大手の撤退などによる販売不振で消極的になっている。（小売業・出石）
26	原油価格・物価高騰による観光産業への影響が非常に大きい。（サービス業・出石）
27	運賃の高騰及び配送の利便性が悪くなった。（建設業・但東）
28	円安の影響で、物価高騰。売り上げは上がらないのに、経費は上がる。新規事業に対する支援事業はあるが、現状維持に対する支援がない。現在の商売を維持するための支援策を考えてほしい。（小売業・但東）

【9】自由コメント

1	6月に入ってからインバウンド効果も多少薄れてきている気がする。夏にはなんとか盛り返したいと考えている。（飲食業・城崎）
2	人材についても現在は適正だが、離職者が出ることによる不足も避けられない為、雇用確保も常に意識したい。（宿泊業・城崎）
3	企業努力だけで収益を増やす事は、すでに限界です。原油価格の2重課税の解消、中小企業対策など政府の対策が望まれます。（製造業・日高）
4	大企業が中小零細企業の利益を吸い上げてしまう今の日本経済の構造では、今後の見通しは正直暗い。一部の大企業が下請けをいじめ抜いて過去最高益を上げている状況はいかがなものか。（製造業・日高）
5	商品価格の原価計算を毎月しなければならない。価格あげてみなし売り上げは上がったが粗利、純利は下がっている。（小売業・日高）
6	原油価格高騰に続いてオリーブが不作などいろいろな状況が相まってオイルギフト中心にその商品が定番からなくなるおそれがある。事実撤退した（予定も含め）ところもあり、今後今のような供給ができなくなることが予想される。（小売業・日高）

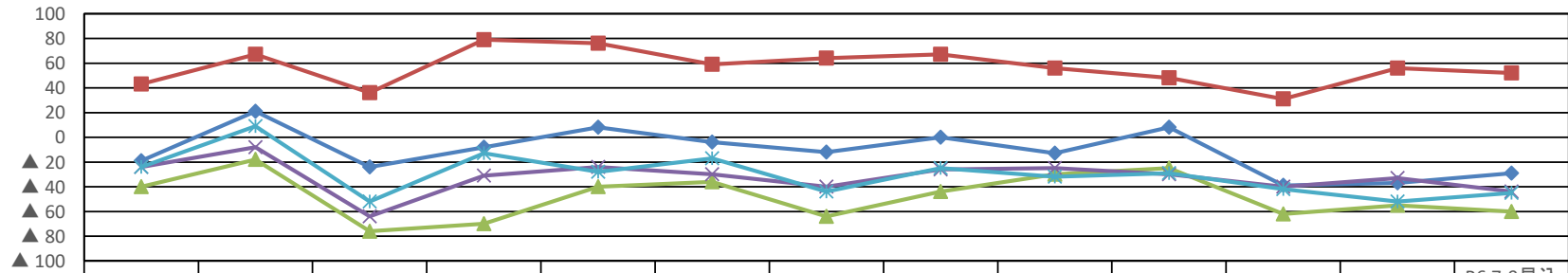
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



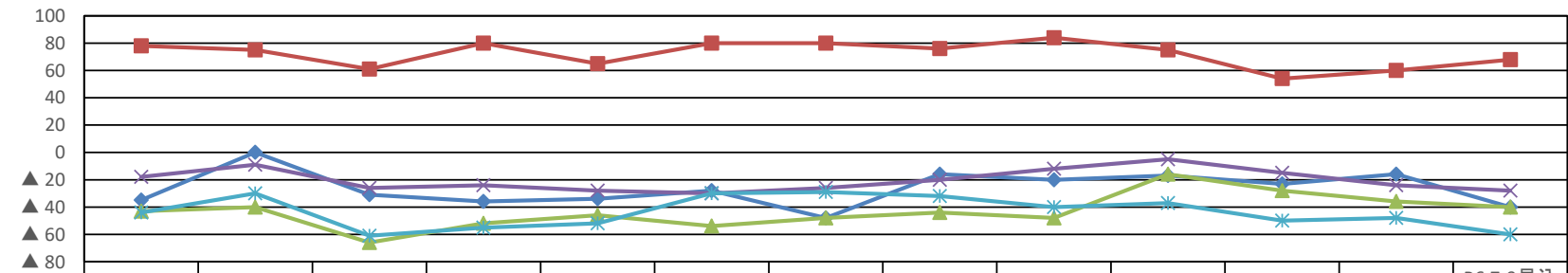
	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
◆ 売上高	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 20	▲ 18	▲ 22
■ 仕入単価	26	64	51	74	74	72	76	72	77	70	58	66	66
▲ 採算性	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 26	▲ 40	▲ 40	▲ 40
× 資金繰り	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 16	▲ 26	▲ 21	▲ 25
✧ 景況感	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 12	▲ 34	▲ 38	▲ 33

製造業DI推移



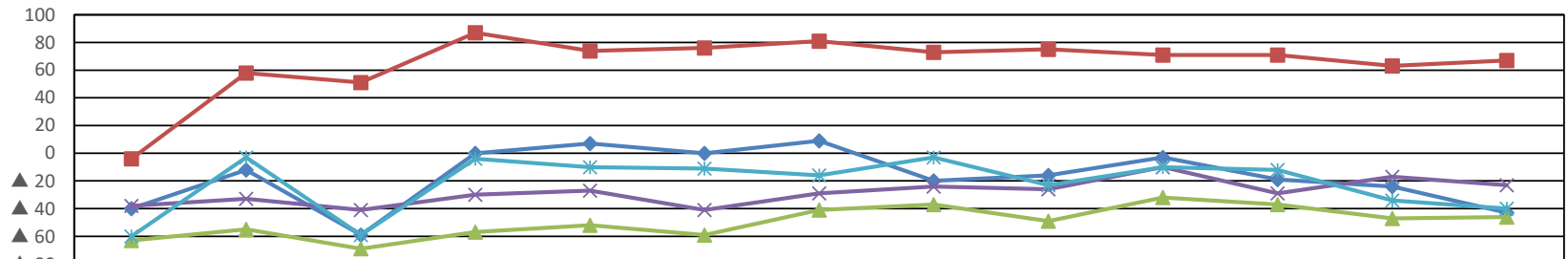
	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 19	21	▲ 24	▲ 8	8	-4	-12	0	▲ 13	8	▲ 39	▲ 37	▲ 29
■ 仕入単価	43	67	36	79	76	59	64	67	56	48	31	56	52
▲ 採算性	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 25	▲ 62	▲ 55	▲ 60
✕ 資金繰り	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 30	▲ 40	▲ 33	▲ 44
✧ 景況感	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 29	▲ 42	▲ 52	▲ 45

建設業DI推移



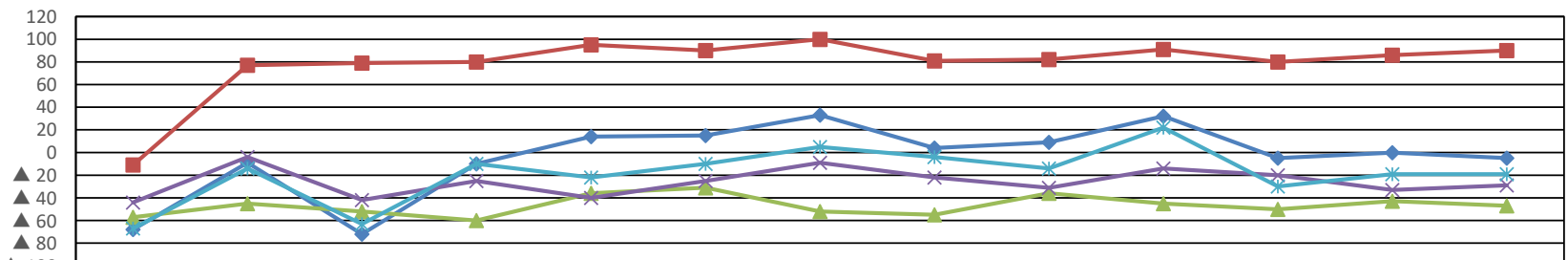
	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 17	▲ 23	▲ 16	▲ 40
■ 仕入単価	78	75	61	80	65	80	80	76	84	75	54	60	68
▲ 採算性	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 16	▲ 28	▲ 36	▲ 40
✕ 資金繰り	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 5	▲ 15	▲ 24	▲ 28
✧ 景況感	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 37	▲ 50	▲ 48	▲ 60

小売業DI推移



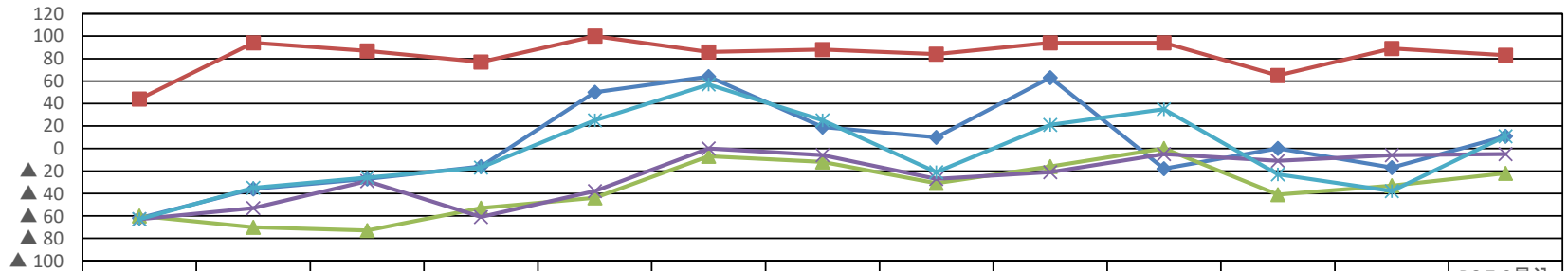
	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 3	▲ 19	▲ 24	▲ 43
■ 仕入単価	▲ 4	58	51	87	74	76	81	73	75	71	71	63	67
▲ 採算性	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 32	▲ 37	▲ 47	▲ 46
× 資金繰り	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 10	▲ 29	▲ 17	▲ 23
✧ 景況感	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 10	▲ 12	▲ 34	▲ 40

飲食業DI推移



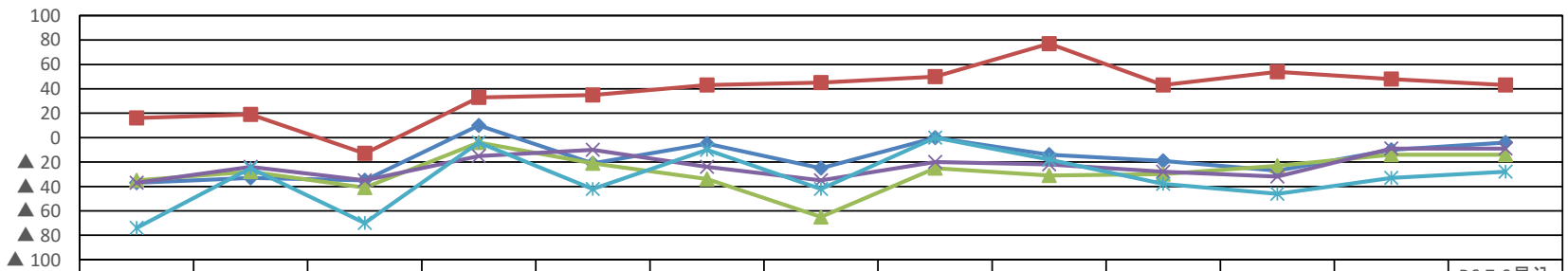
	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	9	32	▲ 5	0	▲ 5
■ 仕入単価	▲ 11	77	79	80	95	90	100	81	82	91	80	86	90
▲ 採算性	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 45	▲ 50	▲ 43	▲ 47
× 資金繰り	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 14	▲ 20	▲ 33	▲ 29
✧ 景況感	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	22	▲ 30	▲ 19	▲ 19

宿泊業DI推移



	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 62	▲ 36	▲ 27	▲ 16	50	64	19	10	63	▲ 18	0	▲ 17	11
■ 仕入単価	44	94	87	77	100	86	88	84	94	94	65	89	83
▲ 採算性	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 16	0	▲ 41	▲ 33	▲ 22
× 資金繰り	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 21	▲ 5	▲ 11	▲ 6	▲ 5
* 景況感	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21	35	▲ 23	▲ 38	11

サービス業DI推移



	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	R6.7-9見込み
● 売上高	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	▲ 14	▲ 19	▲ 27	▲ 10	▲ 4
■ 仕入単価	16	19	▲ 13	33	35	43	45	50	77	43	54	48	43
▲ 採算性	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 31	▲ 30	▲ 23	▲ 14	▲ 14
× 資金繰り	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 22	▲ 28	▲ 32	▲ 9	▲ 9
* 景況感	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 18	▲ 38	▲ 46	▲ 33	▲ 28